



CONTENTS

- 01 [View of This issue]
地域圏大学としての新たな始動へ
● 理事(研究・情報担当)・副学長 | 吉岡 基
- 02 [特集① / 特別講演]
吉田沙保里選手 特別講演
オリンピック3連覇を支えたもの
- 07 [特集② / 対談]
地域への新たな貢献を目指して
● 長島観光開発株式会社 代表取締役社長 | 稲葉邦成
● 学長 | 内田淳正 ○ 司会 | 副学長 | 児玉克哉
- [RESEARCH FRONT] 三重大の研究最前線
- 12 幼児による母語の獲得から
ヒトの「こころ」に迫る。
● 人文学部教授 | 杉崎 敏司
- 14 低炭素社会への貢献を目指し、
新たな電池開発に挑む。
● 大学院工学研究科教授 三重大学次世代型電池開発センター長 | 今西誠之
- 16 海洋生物に
「美と健康」を求める。
● 大学院生物資源学研究科教授 | 幹 渉
- 18 救急医療は医の原点。
● 三重大学医学部附属病院教授 救命救急センター長 | 今井 寛
- [CLOSE-UP Interview] 挑み続ける、あの人に迫る
- 20 ゲーミング教材に
新たな教育の可能性を見いだして。
● 教育学部教授 | 南 学
- 22 チームワークで認知症の診断精度を上げる
画像診断技術を可能に。
● 医学系研究科教授 医学部附属病院副院長 | 冨本秀和
- [連載] CHRONICLE OF MIE VOL.10
- 24 【文学編】晩成の人、津坂東陽。
● 人文学部准教授 | 吉丸雄哉
- 26 【美術編】歌川広重「東海道五十三次之内 四日市 三重川」
● 教育学部教授 | 山口泰弘
- [三重大大学の目指す社会連携①-⑧]
- 28 三重大学社会連携研究センター伊賀研究拠点
伊賀地域の行政・企業との共同研究支援拠点
- 29 TOPICS
- 32 2012年9月～2013年8月 三重大学の主な出来事



地域圏大学としての
新たな始動へ

理事(研究・情報担当)・副学長
吉岡 基

よしおかもと
農学博士
専門分野は海生哺乳動物学、
特に鯨類の繁殖生理・生態学

2012年6月、文部科学省は、社会の変革のエンジンとなる大学づくりを目指し、大学改革実行プランを公表、その中で国立大学改革を宣言しました。そして、その一環として、現在、各大学の学部・研究科の「ミッションの再定義」という作業が行われています。これは、それぞれの大学の学部・研究科が、設立の理念・設置目的とこれまでの実績を踏まえ、自らの強みや特色を整理し、今後、どのように社会的役割を果たしていくかを社会に宣言するものです。

三重大学でも、今後公表される予定の再定義の内容を踏まえ、教育・研究を進めてまいります。研究面ではとくに、2011年の東日本大震災以後、「社会的期待に応える研究」、「社会の中の科学」というように、「研究」と「社会」との関係がより強く意識されるようになりました。大学でしかできない研究課題は少なくありません。しかし、私たちの研究成果は、国、地方公共団体、産業界、市民社会が抱える課題の解決に還元されなければなりません。

三重大学は地域圏大学の一つとして、これまでもさまざまな形で地域貢献、社会貢献活動に取り組んでまいりました。これからは、こうした社会や改革の動きにも的確に対応し、ますます「地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出す」ことに邁進してまいります。三重大学へのご支援を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

